

平成24年度 第2回 読書のまち八王子推進連絡会議 会議録

日時 平成24年10月23日(火) 午後6時05分～8時00分

場所 八王子市中央図書館 3階 会議室

出席者指名

委員

小平 有紀	三塚久美子	吉澤 淳	鈴木 康弘
谷口 葉子	中村 和也	山崎 久道	森岡 庸浩
豊田 亘男	三浦 眞一	辻井 睦	草刈あずさ

欠席委員

斉藤 和巳 黒田八千代 常盤 義輔 森田 聖二

事務局

穂坂中央図書館長 中村生涯学習センター図書館長
遠藤南大沢図書館長 福島川口図書館長
中央図書館 樋口主査 田所主査 一杉主査
生涯学習センター図書館 高橋主査
南大沢図書館 太田主査 新井主査

傍聴人 0 人

事務局(福島川口図書館長)

本日はお忙しいところ平成24年度第2回読書のまち八王子推進連絡会議にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、これより、読書のまち八王子推進連絡会議の進行を三浦会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

三浦会長

本日の会議につきましては、過半数の委員のご出席をいただいておりますので有効に成立しております。

斉藤委員、黒田委員、森田委員、常盤委員は所用のため、どうしても出席できない旨の連絡がございました。

なお傍聴人はありません。

また会議録の署名委員は 鈴木委員にお願いしたいと思います。

(鈴木委員の了承があった)

三浦会長

それでは最初に新委員についてご紹介願います。

事務局(福島川口図書館長)

資料をご覧ください。

まず、前回の委員会にご出席ができませんでした中村和也委員をご紹介いたします。 ご挨拶をお願いいたします。

中村委員

あいさつを行った。

事務局（福島川口図書館長）

本年10月1日付で市の人事異動がございまして、行政委員並びに事務局が変更になっております。

まず、行政委員さんでは市の健康福祉総務課長、立花委員が異動になりまして、後任の辻井福祉総務課長でございます。

ご挨拶をお願いいたします。

辻井委員

あいさつを行った。

事務局（福島川口図書館長）

そして事務局でございますが、川口図書館長の田中が市民部に異動いたしまして、後任はわたくし、川口図書館長、福島でございます。では、田中前川口館長からご挨拶をいたします。

田中前川口図書館長

あいさつを行った。

事務局（福島川口図書館長）

あいさつを行った。

そして事務局の主査が異動で変わっております。

読書のまち推進連絡会議の事務局を行っております南大沢図書館の太田が異動しまして、後任の嶋崎でございます。

——立って会釈のみ——

以上でございます。

三浦会長

ありがとうございました。

それでは会議資料の確認をお願いします。

事務局（新井南大沢図書館主査）

おそれいりますが、お手元の配布資料の確認をお願いします。

資料1. 読書感想画コンクールについて

資料2. はちおうじ読書の日記念講演会について

資料3. 平成24年度図書館まつりについて

資料4. 八王子市立小学校PTA連合会第3回「読書のまち八王子」推進コンクールの実施について

資料5. 平成23年度図書館統計について

資料6. 平成23年度図書館自主事業の実施結果について

資料7. 講演会「子どもと本を結ぶ」の開催について

参考資料として

・らいぶらりいー八王子市図書館報 2部

以上ですが、不足などありましたらお申し出下さい。

（ 資料の確認が行なわれた ）

三浦会長

資料の確認はよろしいでしょうか。

それでは会議に入ります。

報告事項1「読書感想画コンクールの実施について」事務局から説明をお願いします。

事務局（高橋生涯学習センター図書館主査）

第8回読書感想画コンクールについて読書によって受けた感動や感想を絵に表現することにより、文章で表現することが苦手な子でも自分の感動や感想を多くの人に伝えることができる機会を持てるとともに、読書のまち八王子が目指す読書活動の振興を図ることを目的として平成17年から実施している。

第8回の今年度は東京八王子西ロータリークラブから共催事業の申し出を受け東京八王子西ロータリークラブ会長賞を設け、より多くの子供たちに賞を与える機会ができた。ロータリークラブからは応募者への参加賞や入賞者への副賞とともに中学校の部の優秀賞とロータリークラブ会長賞の2名を海外友好都市の台湾高雄市に派遣する予定になっている。応募数は小学校低学年の部94点、小学校高学年の部19点、中学の部341点、合計454点の応募があり、審査の結果、小学校低学年の部最優秀賞1点、優秀賞3点、入選5点、小学校高学年の部最優秀賞1点、優秀賞3点、入選5点、中学の部、最優秀賞1点、優秀賞4点、入選4点、各部門にロータリー会長賞を加えた計30点が入選作となっている。

このあと表彰式が11月3日中央図書館で行う。展示は10月27日～11月11日まで、南口総合事務所の多目的スペースで海外友好都市の作品と合わせて演じる予定。ホームページ上でも入選作品の画像を公開する予定。

三浦会長

審査を担当した委員の感想をお願いします。

小平委員

個性がありレベルも高く子供たちの感性に触れられて、審査にかかわれたことを感謝している。ロータリークラブの副賞は子供たち同士の交流や将来に期待するのでこれからも続いていくといいなと思った。

三塚委員

本の一場面を描くというだけでなく、自分を投影したというのが素晴らしいと思った。素晴らしさが伝わると思うので、多くの人に見てもらいたいと思う。海外作品も国によって色遣いが違い、お国柄というか興味深かった。海外へ行ったことの感想も周知すれば多くの参加があるのではないか。

谷口委員

多くの子が応募したということに感心した。子供たちの夢が伝わって、素晴らしい絵だった。海外姉妹都市の交流があり素晴らしいことをしているなど感動した。コンクール続けていただきたい。

中村委員

審査時間が短かったと感じた。小学校低学年の部が19作品と少な

かったのがさびしかった。絵とコメントを見て、これなら私も読んでみたいという観点から評価した。海外は中国の子たちは水墨画を習っているということで、お国柄を感じた。

穂坂参事

私も審査に参加したが、すごく新鮮に感じた。日本の方が素直に表現していると感じた。海外の方は上手すぎて子供らしさが足りないと感じた。今回ロータリーが途中から参加したのでこういう賞がある事を周知できなかったが、来年も協力いただけるとすればもっと盛大になるのではないかと思った。

三浦会長

ご意見ご質問などありましたらお願いします。

鈴木委員

応募者数、入選数というのは公表しないのか。

事務局（高橋生涯学習センター図書館主査）

今までは公表していない。ご意見として伺いたい。

三浦会長

PRは昨年と同じか。

事務局（高橋生涯学習センター図書館主査）

ホームページとで行ったが、小学校低学年の部は学校単位で応募いただいた。今後は研究部会のところで先生方をお願いしたいと思っている。

鈴木委員

本校でもこれなら出せるというのが少なかった。この数値を返していただく方が、次年度はもう少し上がっていくのではないかという気がする。来年度も続くようであれば、今年度のうちに来年度も続くと言ってくれた方がさらに点数が増えると思う。

事務局（高橋生涯学習センター図書館主査）

受賞された学校には通知を点数等含めお送りした。今週中には届くと思います。

吉澤委員

学校の方にいろいろな募集が来るのは事実だ。どれか一つにどの子も応募するという事なのでバラけてしまう。先生の意識をこちらに向けるというのが点数を増やすことだと思う。

事務局（福島川口図書館長）

来年は研究部の方へ早めに働きかけていきたい。

草刈委員

展示を見ていないので見に行ってみたい。先生方も見ていないのではないか。教育センターに最優秀だけでも展示しておけば興味を引くのではないか。

三浦会長

よろしいでしょうか。それでは、報告事項2「はちおうじ読書の日記念講演について」事務局から説明をお願いします。

事務局（新井南大沢図書館主査）

はちおうじ読書の日記念講演会についてご説明いたします。

八王子市では10月27日を「はちおうじ読書の日」と定めております。この読書の日を記念いたしまして毎年講演会を開催しており、11月3日（土・文化の日）、会場は八王子市中央図書館この建物の地下の展示室で、午後2時から4時まで開催する予定です。

講師は直木賞作家、志茂田景樹氏をおむかえいたして、「読書の魅力再発見」と題して講演会を開催いたします。

志茂田景樹氏は1940年（S15）生まれの72歳で、中央大学卒業後28歳で作家を志し、「黄色い牙」で直木賞を受賞しております。また、タレント、よい子に読み聞かせ隊隊長として幅広く活躍されており、当日も九州から直接お越しいただき、また九州の講演へと出かける、大変お忙しい中、八王子市のために講演をお引き受けいただきました。定員は140名で、10月1日号の広報に掲載し、はがきによる募集をしまして、定員いっぱいになっております。

今、ツイッターでの人生相談が大評判と聞いておりますが、当日は志茂田景樹氏の読書に対する熱い気持ちを語っていただけるとはなにかと思います。

三浦会長

説明は終わりました。このことについて、ご意見ご質問などありましたらお願いします。

三浦会長

よろしいでしょうか。それでは報告事項3「平成24年度図書館まつりについて」事務局から説明をお願いします。

事務局（新井南大沢図書館主査）

図書館まつりについてご説明いたします。

10月27日から11月9日までの読書週間に合わせ、八王子市では図書館まつりを開催いたします。

図書館まつりは、先ほどの、はちおうじ読書の日記念講演会をはじめ、ワークショップ、読書感想画コンクール入選作品展示、秋の朗読会、図書・雑誌のリサイクルを行います。まず、はちおうじ読書の日記念講演会は先ほどご説明したとおりです。

次に、ワークショップです。図書館を中心に活動されているボランティア団体の方々が本の修理や簡単な手作り絵本等体験できる「体験コーナー」や活動の成果を発表展示します。今回は8団体が参加です。

日時 11月3日（土）～4日（日）午前10時～午後5時

会場 八王子市中央図書館3階 視聴覚ホール・会議室等

費用 無料 申し込み 不要 直接会場へ

読書感想画コンクール入選作品展示（海外友好都市の小学生による作品も展示）日時 10月27日（土）～11月11日（日）午前8時30分～午後7時（土・日曜日は5時まで）なお、11月3日祝・

土)は閉庁日です) 場所 八王子駅南口総合事務所

秋の朗読会、はちおうじ朗読の会「灯」による朗読会で、毎年春秋に開催しております。いつもたくさんの方がお見えいただいております。日時 10月27日(土)午後1時30分～午後4時 会場 八王子市中央図書館3階 視聴覚ホール、費用 無料、申し込み不要 直接会場へ

図書・雑誌のリサイクル、保存期限の過ぎた雑誌や古くなった本を市民の皆様にもリサイクルしています。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。それでは報告事項4「八王子市立小学校PTA連合会第3回「読書のまち八王子」推進コンクールについて」谷口委員から説明をお願いします。

谷口委員

平成22年より子供たちの読書推進をテーマに、読書のまち八王子推進コンクールを開催してきた。本企画は行政や教育機関のみならず民間にも協力を仰ぎ官民一体となって、八王子市全体で取り上げようと、今年で3回目になる。対象は市立小学校在籍児童の保護者、および教職員を対象にしている。応募総数31校、昨年よりプラス2校だが、点数250点は昨年より減ってしまった。今回3回目でも応募が減っているの先生方が声をかけていただければ多くなると思う。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

山崎委員

出品される文は大人が読んで子供に進めるという趣旨なのか。

谷口委員

大人が書いた文を読んで、読みたいと思う内容のもので、大人の文を子供が読むということではない。

山崎委員

子供がこの本いい本だなと気づくような機会とかあるか。

谷口委員

そういうものがあるということをもまず大人が知って、子に進めるということです。

小平委員

在籍児童保護者となっているが、読み聞かせなど地域活動に参加している人が本を薦めたりしているので、そういう方も参加できるようになればいいと思う。

谷口委員

持ち帰ってみたい。

三浦会長

よろしいでしょうか。それでは報告事項5「平成23年度図書館統計について」事務局から説明をお願いします。

事務局（樋口中央図書館主査）

平成23年度は震災の節電の関係で4月1日から6月12日まで全館で夜間開館の中止、6月13日から9月30日まで全館で週1回の輪番休館を行ったとともに、10月1日から2月22日まで川口と北野で夜間開館を中止した影響で開館日数、利用者数、貸出数で前年より減少している。その中でリクエスト数については大幅増となっている。ホームページのアクセス数についてはトップページのアクセス数で図書館と八王子市の件数を出している。

蔵書検索は3,896,300件で、1日1万件のアクセスがある。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

山崎委員

- ① 利用者数についてもう一度お願いしたい。
- ② アクセス件数について、八王子市のホームページから図書館へ来るといふのがあるが、重複してカウントされていないかという気がする。この件数の意味をもう一度お願いしたい。

事務局（樋口中央図書館主査）

入館者数については実際に入った人のカウントで、利用者数については貸し出しを実際行われた人です。ホームページは直接図書館に入ったという人で、八王子市から入ったというのは計算していない。

山崎委員

データは前年を下回り、実績が上がってないように見えてしまう。昔からとらえてきた統計項目だと思う。入館者についても来なければサービスを受けられなかったが、今はホームページでリクエストもできる。電子社会になればネットから図書館を使うというのがますます多くなると思うので、その形に統計データの取り方を整備するのが必要と思う。

図書館は一般と児童と図書が分かれているが、YAの部分が大事で、その年齢にどう図書館を使ってもらうかが大事だ。一般、児童、YAと分けるようにできるといいと思う。きめ細かく実態を表すようにデータを作る方がいいと思う。

事務局（中村生涯学習センター図書館長）

ホームページのアクセス件数は104万件で、前より2倍近く増えた。アクセス解析というソフトを近いうち入れる予定なので、目に見えない使い方についても数字を出して実態を調べていきたい。

YAについては、一般と児童とは別に分けておいてある。

山崎委員

YAの部分をデータで出すのは難しいのか。

事務局（中村生涯学習センター図書館長）

できるかどうかわからない。

山崎委員

一般と児童とYAと別れている方が図書館の蔵書構成がわかるような気がする。

三浦会長

どういう統計が取れるのか、リアルとバーチャルなどいろいろ活用し、お示し願いたい。

事務局（中村生涯学習センター図書館長）

中学生以上になると図書館の存在価値がないような時代になっている気がする。この子たちが大きくなったら利用者が減ってしまう可能性がある。先生の意識を変えていかないと生徒の意識も変わっていかない。将来の図書館の利用に大きく左右するので、その辺も考えていきたい。

中村委員

小中の読書傾向を把握するように努めているが、中学生になると部活と受験があり、八王子だけではない傾向があるようだ。読書好き以外の子はなかなか来てくれない状況は昔から続いていて、大きい課題と思っている。図書室の利用の仕方を先生にお願いして子供に伝わるように努力しないといけない。学校との連携が必要と考える。

山崎委員

図書館が能動的な姿勢をとるようにしなければいけない。来てくれる人にはサービスしますではなく、どうして来ないのか、来ればきちんと本がありますと、まだ子供にはインターネットは早いと思う。図書館が指導してあげるべきと考えている。

森岡委員

中村委員、山崎委員の指摘は全くその通りで、現場の図書館が図書館として機能しているか、まず確認する必要があると思う。

三浦会長

調べる図書館と読む図書館がある。読むための図書館については何かありますか。

豊田委員

活字を読んで、めくって、組み立てていく、それが大事だ。

山崎委員

携帯小説を読書と呼べるかという論争もある。スマホから活字に移すというのは強い力が必要だ。そういうところをやっていかないと難しいのかもしれない。

小平委員

活字を追うということに対して形はいろいろあっても興味があり、続けていくということが大事だと思う。中高生たちに興味が行くようなライトノベルズというものがあっても面白いと思う。

中村委員

ライトノベルズは命が短いというか、図書館が買うべきものかということもある。昔に比べ本の価値が下がっているような気がする。

三浦会長

統計の取り方とか、今後につながる統計のスタイルについての意見はどうか。

山崎委員

今年はこの統計の取り方をしましたとか、これの他にこういうことがわかったと、評判が良ければ続ければいい。そうでなければやめてしまってもいいと思う。

穂坂参事

データをきちんと取り、選書に生かすとか、できるものは取っていききたいし、お伝えしたい。時代に合った統計の資料としていきたい。

三浦会長

よろしいでしょうか。

それでは報告事項6「平成23年度図書館自主事業の実施結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局（樋口中央図書館主査）

出張図書館について、平成22年から1か所試行実施で行っており、23年度は3か所で行っている。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。新規のものはあるのか。

事務局（樋口中央図書館主査）

出張図書館は2年前からで、あとは毎年行っている。

三浦会長

やめたものはあるのか。

事務局（樋口中央図書館主査）

特にない。

豊田委員

宅配サービスは利用した人か、宅配した人か。

事務局（田所中央図書館主査）

186は宅配を行った人数です。

豊田委員

障害者は寝たきりなのか、図書館へ行けないという人か。

事務局（田所中央図書館主査）

外出が困難となるので、両方含まれている。

豊田委員

読みたい人がもっと増えたらいいと思う。

事務局（田所中央図書館主査）

前年度に比べて増えている。

三浦会長

PRを徹底してほしいということだと思う。現状は職員が行っているのか。

事務局（田所中央図書館主査）

宅配はボランティアさんに行ってもらっている。24年度新規の人もいる。

三浦会長

ボランティアの募集はどうなっているのか。

事務局（中村生涯学習センター図書館長）

高齢者福祉の窓口にはボランティア募集の用紙を置かせてもらった。そのあと図書館の窓口にもおいている。

三浦会長

現状増えているようなので、利用される障害者に対してどう周知していくか、をやらないともったいない。

よろしいでしょうか。

それでは報告事項7「講演会「子どもと本を結ぶ」の開催について」事務局から説明願います。

事務局（新井南大沢図書館主査）

南大沢図書館では、「～子どもと本を結ぶ～」をテーマに毎年講演会を実施しております。今年度は、絵本作家の「ましませつこ」さんをお招きして、「私の絵本作り・わらべうたに魅せられて」と題して、平成24年12月2日（日）午後2時から4時まで生涯学習センター南大沢分館におきまして講演会を実施いたします。「ましませつこ」さんは、わらべうたをテーマにした絵本を、数多く手がける絵本作家で、講演会ではリクエストされたわらべうたは、うたうのではなく、ゆっくりと流れるような感じで、メロディはなくても、ことばの響きだけで十分にたのしかったとの評判も聞いております。会場は生涯学習センター南大沢分館で、定員60名を予定しております。八王子市広報は紙面の都合で11月15日号で掲載いたしますが、受け付けは11月2日から電話か窓口で受け付けをする予定です。南大沢図書館の講演会は、23年度は絵本作家の長野ヒデ子さん、22年度は絵本作家の豊田かずひこさんをお招きして行っており、いずれも会場は満員になっておりました。今後もこういった読み聞かせなど、実際に子供たちと対している方に一人でも多く参加していただける講演会が開催できるようにしていきたいと考えています。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

アンケートをとったなら結果を教えてくださいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、今までの報告事項以外に何かありますか。

事務局（田所中央図書館主査）

図書館では小中の調べ学習などの支援のため、図書館の学校貸し出しを行っている。ここでさらに利便性を高めるため、学校向け専用ホームページを新設する。図書館のホームページに学校図書館専用のホームページを用意し、学校ごとに利用番号とパスワードで利用できる。これにより学校貸し出しの活用を図れると思っている。

この件については8月の副校長会で報告を行っている。2学期中に開設すると説明しているが、今月末の開設について最終調整を行っている。開設の際には校長会に通知する予定です。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

三浦会長

よろしいでしょうか。他にはいかがですか。

草刈委員

学校図書室のデータベース化、検索システムについて、昨年度中に学校図書室の蔵書にバーコードを添付し、検索システムを構築した。

そして今年度システムを稼働した。このシステムを導入することでできるようになったのは、市内の小中の蔵書を検索できる、さらに市図書館の検索もできるこのシステムを導入したことで期待されるのは、子供たちが調べ学習をするときにテーマを入力することで自分の学校に本がなかったときに市図書館に行けばあるというのがわかるということと、読書の側面でいうと作者で調べていくとか、テーマで読んでみたいとか、漠然と本棚を見るのではなく、興味を持って検索をして本を探すということができるようになります。幅広く検索システムを使って調べ学習や読書活動が充実するようにと考えています。

三浦会長

説明は終わりました。ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

吉澤委員

子供が検索する場合、学校間のやり取りが決まっていない。子供が実際に手に取るまでには時間がかかりそうだ。また、八王子中学習する時期は同じなので、本の数が足りなくなる。そのとき早い者勝ちにならないように、まんべんなく行き渡るようにするにはどうしたらよいか、という工夫が必要になる。

三浦会長

これからどうやったら生きるかというのが次の課題になる。

山崎委員

インターネットなら無制限にアクセスできるが、戦略を考えていかないと本の融通には限界がある。

中村委員

このシステムだと貸し出しされているかわからない。学校間の融通がされてもその辺が管理できないとあまり役に立たないという思いがある。また、学校によっては図書室が高学年、低学年に分かれている学校があるので、どこにあるかまではわからないので、発展のさせ方が重要と思う。

三浦会長

せっかく作ったシステムなのでさらに発展させ、活用しやすいようにするために委員の意見プラスαの検討をしていただきたいと思う。

山崎委員

貸し出し情報が入っていないのは確かにその通りですが、それを入れるとすると貸し出しシステムとの連動を図らないといけない。非常に大きな事業となってしまうと思う。

こういう広がりを持って本を探せるということで、とりあえずこのシステムは評価して行って、それ自体の意義をうまく出すようにしていった方が当面はいいような気がした。

草刈委員

前の会議の時もここでゴールではないという意見をたくさんいただいている、そのつもりではないが、いつという返事はできないといていた。現状はここまでで、すべてではないという意識ではいる。

三浦会長

予算との兼ね合いもあるので順次進めていってもらいたいが、現状ではここまで進めたという報告と理解していただければと思います。

三浦会長

よろしいでしょうか。
他にはいかがでしょうか

事務局（福島川口図書館長）

読書感想文コンクールを東京八王子西ロータリークラブさんのご支援により行うことができました。読書の大切さを分かってもらえるように追加して共催にて行うものであります。校長会にも通知しているが初めての事業なのでできる限り応募者を募り、来年度につなげていきたい。

三浦会長

絵の苦手な子、文の苦手な子がいる中で、感想画だけでも片手落ちなので、感想画と感想文を一对の事業として、夏は感想画、読書週間は感想文をもって進めていきたいと思った。

三浦会長

よろしいでしょうか。他にはいかがでしょうか。
なければ、以上で報告事項・その他は終わりました。
次回日程についてはいかがでしょうか。

事務局（福島川口図書館長）

1月17日あたりではいかがでしょうか・・・

三浦会長

それでは、平成24年度第3回の会議は1月17日に開催いたします。

以上で、本日の会議を終了いたします。長時間のご審議をありがとうございました。